

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

福祉・防災のまちづくり 学習懇談会 報告②

原子力発電に頼らないエネルギーに

日増しに福島原発事故発生時の東電側の対応の不備が明らかになってきました。5月29日の懇談会では、放射能汚染に対する不安や今後のエネルギー問題についていろいろな意見が出ました。原発の問題点も含めて報告します。

原子力発電の安全技術
はまだ確立されていない

原子炉の中で核燃料のウランを燃やすと膨大な熱が出る。運転を止めるときは制御棒を差し込んでウランの核反応をとめる。これは、今回の事故でわかったことでした。そして、止めても熱を出し続けるので絶えず水で冷やし続けなくてはならず、その機能と設備が必要で、地震発生後に始まった事故からずーっと放水車で水をかけ続けているのです。今回の事故は必要な水の供給が止まってしまったのです。冷やし続けなければ膨大な熱が出っぱなしになり、どんどん高温になって核燃料が溶け出す。構造上の本質的な欠陥で、安全な技術はまだ確立されていないのです。

使用済み核燃料の処理
方法も確立していない

使用済み核燃料は大量の放射能を出し続ける危険なものだということだけでなく、その処理方法はいまだに開発できていないのです。

物騒な原発なのに
管理をおろそかにしている日本

日本共産党は、原発の持つ危険性と管理監督をする政府の態度の無責任さを改善するよう求め続けてきました。そのいくつかを紹介します。

①原子力発電を進める「推進機関」と、安全を審査して建設を認可する法的権限を持つ「規制機関」を分離すると規定した、「原子力の安全に関する条約」を日本は批准しました。ところが、それぞれの機能を持つ機関は整備されていなかったのです。条約違反ですが、改善を求める質問を

した時、当時の総理大臣は、規制機関と推進機関の区別もできないほどの認識だったのです。

②東海地震に備えた予知システムをつくる特別措置法を制定したのに、危険地帯の御前崎に浜岡原発をつくる計画はやめるよう求める質問をしたとき、当時の審査は「震度5で大丈夫」と許してしまっただけです。

この二つの例でも明らかのように、政府も東電もまったく無責任そのものです。

建設計画周辺の自治体や住民に「安全神話」を振りまいて、自らも「安全神話」に取り付かれました。だからではないでしょうか。

今年5月末に、国際原子力委員会(IAEA)は事故の調査報告書案を日本政府に提出

しましたが、「津波被害を過小評価していた」と断じ、自然災害への対策強化を求めました。私はあらためて、しっかりと自分の目で見て、耳で聞き分けて判断することがいかに大事かを実感しました。過ちでは済まされない問題ですが、絶対に繰り返さないようにしていきたいものです。

会場からの発言紹介

○福島原発は71年にできて30年以上経っている。耐用年数は何年か。

○山梨の都留市では小さな川で水力発電をしている。そういうものをたくさんつくるべきだ。

○立会川には東京駅の地下水を放水しているが、水力発電できないものか。

○原発は困る。正しく知らせ

ることが大事だ。

○誰も責任取らないし追求されないがいいのか。各自治体で放射能測定をさせることが大事ではないか。

○福島第二原発や女川原発で事故が起きなかったのはなぜか。

○放射能測定の体制は、核実験のためのもの。1自治体に一箇所ではなく広く置くことが大事だが、費用や国の責任

のあり方をしっかりさせることが求められるのでは。

○原発の推進や規制機関は公務員か。日本では公務員は多すぎるという声強い中、機関設置の合意できるのか。

○自然エネルギーを実践しているところを紹介してほしい。

「原発ゼロ」の運動をみんな求めていると実感しました。

品川区が放射線量の測定を実施します

実施期間 H23年6月～H24年3月31日、週一回程度

測定場所

大気 区内2ヶ所(定点測定、地上1m)

土壌 小中学校、幼稚園・保育園、公園それぞれ2ヶ所

プール 小中学校について2ヶ所(屋外プール使用期間のみ)、幼稚園・保育園の屋外プールについては設置状況に応じて設定する

※測定場所は、区内の沿岸部と内陸部からそれぞれ選定する。

小中学校、幼稚園・保育園、公園の土壌、プールはローテーションを組んで実施。

生活雇用子そだて教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先 南恵子区議会議員 電話(3790)1523